

米田 昇平 (コメダ ショウヘイ)

(KOMEDA Shohei)



生 年※ 1989年 (35歳)

現 職※ 東京海洋大学 学術研究院 海洋電子機械工学部門 准教授

専門分野 パワーエレクトロニクス、フロンティア (航空・船舶)、船舶海洋工学

略 歴

- 2010年 奈良工業高等専門学校 電気工学科 卒業
- 2012年 奈良工業高等専門学校 専攻科電子情報工学専攻修了
- 2012年 奈良工業高等専門学校 電気工学科研究生退学
- 2014年 東京工業大学 大学院 修士課程修了
- 2017年 日本学術振興会特別研究員 DC2
- 2017年 東京工業大学 大学院 博士課程修了
(博士 (工学) の学位取得)
- 2017年 東京海洋大学 助教
- 2024年 東京海洋大学 准教授

授賞理由

「複数コイルを活用したワイヤレスエネルギー伝送システム」に関する研究

米田昇平准教授は、パワーエレクトロニクス技術を基盤として、水中探査機や小型船舶を対象としたワイヤレス給電技術、ならびに水中電磁探査への応用を見据えた誘導加熱技術の研究を先駆的に推進している。これらの研究は海事関連産業の高度化に直結する新規性の高い成果であり、複数の学術賞の受賞や競争的資金の獲得によって、その価値が広く認められている。

また、電池推進船や水中探査機の技術開発に携わる研究者とも連携し、これらの設備を活用した海事特化型の研究を展開している点も高く評価される。特に、水中・海中環境に適応したパワーエレクトロニクス技術の開発は、国内外でも例が少なく「マリンパワーエレクトロニクス」研究を先導していく可能性を秘めている。

以上の理由から、米田昇平准教授は、海事産業の発展と学術的イノベーションに大きく寄与する研究者として、大山孝勇研究奨励基金「大山賞」にふさわしい人物であると評価し、授賞を決定した。